

進路指導部だより

道しるべ

天王みどり学園 進路指導部

第128号

平成28年8月26日発行



地域の一員として、一人一人が輝き、進んで社会参加できる児童生徒の育成



卒業生から教えられたこと

進路指導主事 小川成樹

夏休みが終わり、学校がスタートしました。まだ残暑は続きますが、高等部3年生にとっては、一人一人の進路実現に向けてとても大切な時期に突入します。秋から冬にかけて、雇用の内定をいただいたり、卒業後の福祉サービス利用について内諾をいただいたりと、希望と不安が入り交じる時期となります。そして、私たちみどり学園教職員にとっては、卒業までの限られた学校生活で生徒に何を教えるべきか、卒業後に起こりうる課題はないか、どんな見通しをもたせたらよいかなど、今までの指導を振り返りながら、指導を充実させる時期となります。

夏休み中、昨年度の高等部卒業生の進路先へ訪問し、次のことを聞いてきました。

- ・会社では、戦力となっていて助かっている。他の仕事にも挑戦させたい。
- ・在学中の現場実習では、周囲の利用者と話をすることがなかったが、今では他の利用者と談笑したり、作業で協力したりするなどの変化がみられている。
- ・毎日、電車や路線バスを使ってくる。4月から、一度も休んでいない。無遅刻無欠勤です。
- ・給料（工賃）で、自分の服を買ったと教えてくれた。とてもうれしそうだった。
- ・昼食に時間がかからなくなった。
- ・これから、暑くなるので体力が続くかどうか心配な面があるが、汗をかきながら頑張っている。

卒業して半年が過ぎようとしています。卒業生はそれぞれの進路先で頑張っています。進路先の方から、このような話を聞けることは、我々教職員の励みにもなり、在校生の指導にもつなげていきたいという熱い思いにもなります。

卒業生が就労継続している背景には、在学中の進路面談や進路学習をとおして、進路先を自己決定できるように支援してきたことが挙げられます。教師や保護者が生徒の進路先を決めるのではなく、あくまでも「本人主体の進路決定」、または生徒の「納得のプロセス」を大切にしてきました。今後も一人一人の進路実現に向けて、進路指導を進めていきたいと考えています。

最後になりますが、御家庭の協力や見守りがなくして進路指導を進めることはできません。引き続き、御家庭からの御協力をよろしくお願いいたします。

第14回職業教育フェスティバル

7月15日、秋田市にぎわい交流館 AUで秋田県障害者技能競技大会が行われました。天王みどり学園からは10名の生徒が、技能競技大会(木工部門、喫茶サービス、ビルクリーニング部門、縫製部門)及び作業製品販売、作業学習実践交流会に参加しました。

木工部門 銅賞

高等部1年 伊藤健流さん



木工部門は、今大会から課題に若干の変更がありました。2時間以内に「すのこ」と平仮名「あ」の型抜き加工をします。指定の寸法に正確に加工する技術が求められます。

競技には高等部1年の伊藤健流さんが出場しました。高等部に入学後に始めた木工作業ですが、放課後練習等を通して大会に臨み、練習の成果を発揮することができた様子でした。

今後も、作業学習における製品製作を通して技術の習得や向上を図り、次年度以降の大会での更なる活躍を期待します。

食品加工班では、アイスコーヒーやオリジナルブレンドコーヒー「みどりの香り」の販売を中心に行いました。コーヒーメーカーの使い方や、アイスコーヒー用のカップに氷やコーヒーを入れる分量を覚え、入れたてのアイスコーヒーを販売しました。できるだけお客さんをお待たせしないように、全員で役割分担をしたり、協力したりする大切さを再確認することができました。

お客さんに笑顔で「ありがとうございました」と挨拶する姿や、「たくさん売れて嬉しい!」との感想からも、達成感を得ることができた、貴重な機会になりました。

喫茶みどりの園



同窓会総会 成人を祝う会

8月7日(日)、今年度の同窓会総会及び成人を祝う会が本校を会場に行われました。同窓会総会では、学園祭等の行事への積極的な参加やボランティア活動への働きかけなど、より主体的な活動となるよう、同窓会長の館岡浩二さんから呼びかけがあったり、役員の変更をしたりしました。

また、成人を祝う会では、仕事の都合などで新成人は5名の参加でしたが、社会人として立派に成長した姿を見せてくれました。久々に歌った?校歌でしたが、最後までみんな大きな声で笑顔いっぱい歌っている姿が印象的でした。これからもそれぞれの家庭で、地域で、職場で、自分の役割をしっかりと果たし、更なる飛躍を期待しています。

新成人12名のみなさん、本当におめでとうございました。

